

(一社) 愛媛県バスケットボール協会 審判委員会
審判委員長 様

審判講習会 参加報告書

令和 7 年 8 月 5 日
報告者 二宮 光司

この度参加しました、審判講習会について報告します。
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	令和 7 年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
参加者 (報告者)	(報告者) 二宮光司 (所属カテゴリー) U 1 5
期 日	2025 年 7 月 27 日 から 2025 年 8 月 1 日
会 場	ジップアリーナ岡山・岡山市総合文化体育館
講 師	塩谷禎氏、古畑香子氏、堀内純氏、村上恵美氏
参加者	本部 10 名、研修生 57 名、視察 4 名、近県 20 名、地元 36 名 合計 127 名
報告	7/22 Zoom を使用したオンライン研修会が開催された。 研修①「ビッグマンに対するコンタクトの理解とポイント」(堀内氏) 近年留学生が在籍するチームが男女とも多くなってきた中、そのコンタクトに対するポイントを、クリップを交えて説明していただいた。 研修②「I H テーマの振り返りと処置ミスの事例」(村上氏) ゲーム中のミスのほとんどがフューマンエラーであることやその背景について P P T を使用し丁寧に説明していただいた。 研修③「本大会に向けたプレゲームカンファレンス」(各ブレイクアウトルーム) 研修生を 6 人程度のグループに分け、その各グループに本部審判員が入る形で、グループディスカッションを行った。少人数のため各々が発言しやすく、実りある 60 分となった。P G C の大きなポイントは、「ベーシックなメカニクス」、「シンプルなプレイコーリング」、「処置ミスゼロ」の 3 点についてであった。 7/27 1 回戦 女子 鎮西学院(長崎)56－85 日本航空(山梨) CC : 報告者 U1 : 田中 真(鳥取 A) U2 : 嘉志摩 有希(富山 A) 主任 : 津田 弥子氏 日本航空の留学生へのコンタクトに対して、研修会で学んだことを生かし、シンプルにコーリングできていた。ゲーム終盤ショットクロックがリセットされていない場面でも、マジックタイムを使って正しく修正できた。ゲーム後に主任からももう少し早く気付いて修正できるとさらによかったと指摘いただいた。

	7/28 2回戦 男子 県立城東(徳島)47－96 正智深谷(埼玉) CC：報告者 U1：峰 聡(長崎 A) U2：矢野 涼介(奈良 A) 主任：豊田 康平氏 1Qはお互いに力を出し合い得点を取り合う展開であったが、2Q以降だんだんと差が開いていくゲームであった。その中で、クルーはよくアイコンタクトがとれ最後までスムーズに進んでいった。ゲーム後の主任の方からいただいたコメントは、ゲームの雰囲気、流れがガラッと変わった場面はどこだったと感じていたのか、また、それをクルーとして共有できていたかの指摘をいただいた。 7/29 3回戦 男子 鳥取城北(鳥取)67－62 柳ヶ浦(大分) CC：松本 究(佐賀 S) U1：報告者 U2：野口 祥寛(山口 A) 主任：なし お互いに留学生を持つチーム同士の対戦となった。ゲームの流れがめまぐるしく変わる中で、フローの大切さを感じるゲームだった。現在自分が取り組んでいる、「判定した物を線でつないでいく」ということにチャレンジできたし、まだまだだと感じるゲームだった。ゲーム中にクロックの誤作動に気付き修正できたことは、自分の自信にもつながった。
所感	初めて研修生としてIHに参加させていただき、将来、トップリーグで活躍したり、次世代の日本代表となったりする高校生の試合を間近で見られ勉強になりました。また、それを支えるために我々審判員に必要な準備と力、そして、それをクルーで発揮するための人間性など学ぶことがたくさんありました。 熱い中、大会を支えてくださる役員、TOの高校生などたくさんの人のおかげでこの大会が進んでいっていることを感じ、感謝の気持ちを持ってコートに立つことができました。 今回、このような素晴らしい大会に参加させていただき、心から感謝いたします。この経験を活かし、自分自身の力の向上と、仲間への還元をして、みんなでレベルアップできるよう努力していきたいと思います。本当にありがとうございました。

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。